

**資料 1**

**安曇野市子ども・子育て支援事業計画**

～ 令和4年度 上半期事業報告 ～

# 子ども・子育て支援事業計画

## 1 「幼児期の教育・保育」について <所管課：こども園幼稚園課>

【令和4年度（計画）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号	2号		3号		
	保育の必要性	なし	あり			あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		569	0	1,623	625	87	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	569	0	1,623	625	87	
	教育・保育施設※	526	0	1,617	499	50	
	認可外保育施設	43	0	3	5	3	
	地域型保育事業	-	-	-	96	28	
	事業所内保育	0	0	3	25	6	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	0	0	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【令和4年度（上半期実績）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号	2号		3号		
	保育の必要性	なし	あり			あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		406	16	1,637	667	114	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	406	16	1,637	640	87	
	教育・保育施設※	395	16	1,616	480	54	
	認可外保育施設	11	0	21	6	2	
	地域型保育事業	0	0	0	121	30	
	事業所内保育	0	0	0	33	1	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	△27	△27	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

3歳以上児に係る幼児期の教育・保育ニーズに対する確保内容については、不足なく確保されているものの、3歳未満児に係る保育ニーズは増加傾向にあり、待機児童が発生している。そうした状況から市内において特に保育ニーズの高い穂高地域西部への小規模保育事業所の新規設置のため、運営事業者を公募・選考し、事業者を決定した。現在は令和5年4月の開所に向け建設事業が進んでいる。

## 2 「地域子ども・子育て支援事業」について

### (1) 妊婦健康診査

<所管課：健康推進課>

[単位：人回/年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	7,485	3,026
② 確保内容	7,485	3,026
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和4年4月～8月の実績と9月の見込み（県外受診含む）

引き続き、妊娠届を提出したすべての妊婦に対して、妊婦の健康保持および増進を図るために妊婦一般健康診査受診票の交付と妊婦健康診査の受診を勧めていく。

### (2) 乳児家庭全戸訪問事業

<所管課：健康推進課>

[単位：人/年間]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	629	239
② 確保内容	629	239
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

健康推進課保健師又は在宅助産師・保健師が、出産後、全ての家庭に連絡し、全戸訪問できる体制を整えているが、出生数減少に伴い、訪問実績も減少傾向にある。出産後は子育てへの不安が大きくなりやすいため、引き続き、早期の訪問に努めていく。

### (3) 地域子育て支援拠点事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人回／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	19,282	1,480
② 確保内容	19,282	1,480
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

9か所の児童館において実施した地域子育て支援拠点事業には、4～9月の上半期は合計1,480人が参加。開催回数は122回で1回の平均参加人数は、約12人であった。

新型コロナウイルスの影響に加え、子育て世代の生活スタイルの変化などから参加者は近年減少傾向である。ニーズや参加傾向を把握し、支援拠点として参加しやすい体制とすることが課題である。

### (4) 延長保育事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人/年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1,169	598
② 確保内容	1,169	598
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児における保育必要量を短時間認定（利用時間8：30-16：30）から標準時間認定（利用時間7：30-18：30）へ変更するケースが増加傾向にあるため、延長保育の利用者は減少している。また、この認定区分の変更により、保育の利用時間が増加し、保育士不足が問題となっている。

## (5) 一時預かり及び幼稚園の預かり事業

<所管課：こども園幼稚園課>

### ① 幼稚園における在園時を対象とした一時預かり（幼稚園型Ⅰ）

[単位：延人／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	154	135
② 確保内容	154	135
③ 過不足 (②-①)	0	0

### ② 認定こども園等における一時預かり（幼稚園型Ⅰ・Ⅱ以外）

[単位：延人／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	2,813	504
② 確保内容	2,813	504
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

認定こども園等における一時預かりは、年間計画の内、半期で約18%程度となっており、当初計画より減少傾向となっている。これは、コロナ禍で外出自粛等により結果的に一時預かり事業の利用が減少したものと考えられる。しかし、当該事業が待機児童に係る保育の受け皿として、利用者が一定数いることから当該保育に係る保育士の確保が課題となっている。

## (6) 病児・病後児保育事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	530	20
② 確保内容	530	7
病児・病後児対応型	493	0
ファミサポ	37	7
③ 過不足 (②-①)	0	△13

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業受託者である安曇野赤十字病院の施設的な状況等から、令和3年12月から現在まで利用休止が続いている。今後はコロナ禍においても受入れ可能な施設の確保が課題となっている。

## (7) ファミリー・サポート・センター事業 <所管課：子ども家庭支援課>

(就学前児童)

[単位：延人／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	903	610
② 確保内容	903	610
③ 過不足 (②-①)	0	0

(就学児童)

[単位：延人／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1,039	68
② 確保内容	1,039	68
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

昨年度と比較して、4月は支援件数が減少したものの、5月以降は毎月15件以上の大幅な増加が続いている。6月、7月は100件以上の支援が行われており、前期の全体的な傾向として、子どもの習い事等の場合の送迎を含む支援が半数以上を占めている状況である。

今年度の9月時点で、依頼会員数は18人増の1,036人となっているが、協力会員数は2人増の147人に留まっている。また、依頼会員1,036人の内、実利用者は73人であり、低調と言えることから、利用促進及び経済的負担の軽減を図るため、要件を満たす家庭を対象に利用料金の一部助成を実施している。今年度は9月末時点で11件の申請をいただいている。

なお、協力会員数を増やす試みとして、今年度より協力会員養成講習会を前期及び後期の2回の実施に増やしており、前期は10人に受講していただいた。引き続き、委託先との定期的な打ち合わせを実施し、依頼会員及び協力会員共により多くの登録者を確保できるような体制の整備に努める。

## (8) 放課後児童クラブ事業

<所管課：子ども家庭支援課>

(低学年)

[単位：人/年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	483	631
1年生	197	256
2年生	151	223
3年生	135	152
② 確保内容	483	631
③ 過不足 (②-①)	0	0

(高学年)

[単位：人/年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	259	122
4年生	89	107
5年生	89	10
6年生	81	5
② 確保内容	89	122
③ 過不足 (②-①)	△170	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

実績値は通年登録者の月平均人数を計上。

例年4月時点での登録者数は多く、その後、長期休業登録に移行する利用者が多い。

現時点で待機児童はいないが、利用希望者は増加しており6年生までの受入れ拡大の要望もあることから、増員分の受入れスペースの確保が引き続き課題である。

## (9) 利用者支援事業

<所管課：健康推進課>

[単位：箇所]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	1	1
② 確保内容	1	1
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

妊産婦及び乳幼児の実態を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種相談を通じ、必要に応じた支援プランの策定や、地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行った。また、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供した。

新型コロナウイルス感染症の流行下で移動の制限もあり、実父母の支援が受けられず、夫婦2人で産後過ごす家庭が増加している。産後の支援者がいない方や、職場復帰を望む方の増加もあり、引き続き安心して子育てができるよう関係機関との連携を深めながら、相談支援を実施していく。

## (10) 養育支援訪問事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人/年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	12	0
② 確保内容	12	0
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

NPO 法人 momo への委託により実施している。家庭児童相談や母子保健相談、乳児家庭全戸訪問事業等において支援の必要性が高い家庭が対象となっている。出産直後に利用する機会が多いが、上半期は支援の必要性の高い世帯での出産が無かった。下半期については、数件の利用が予定されている。



## (11) 子育て短期支援事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	113	13
② 確保内容	113	13
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

松本赤十字乳児院と松本児童園の2施設に委託を行い実施している。上半期では13日の利用があり、内松本赤十字乳児院が9日、松本児童園が4日となっている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で委託施設が受け入れを停止していた期間が長く、利用件数が少なくなっている。停止期間中の発生した緊急性の高い事案については児童相談所と連携し対応を行っている。

## (12) 実費徴収に係わる補足給付を行う事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人／年]

項目	令和4年度 (計画)	上半期 (実績)
① 量の見込み	12	11
② 確保内容	12	11
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

生活保護世帯に係る実費徴収の補助については、生活支援担当と連携を図り給付を行っている。また、幼児教育・保育の無償化に伴い、未移行の幼稚園を利用する低所得者世帯および多子世帯に対する副食費の費用補助についても補足給付を行っている。

## (13) 多様な主体が本制度に加入することを促進するための事業

<所管課：こども園幼稚園課>

3歳未満児の増加する保育ニーズに対応するため、市内において特に保育ニーズの高い穂高地域西部への小規模保育事業所の新規設置のため、運営事業者を公募・選考し、事業者を決定した。現在は令和5年4月の開所に向け建設事業が進んでいる。